

さいがい
自然災害とともに生きる① (教科書 210～221 ページ)

氏名()

①日本ではどのような種類の自然災害が発生していますか。(教科書 210 ページ)

②自然災害はどんな場所で多く起こっていますか。いずれかの自然災害を選んで、説明しましょう。(教科書 210 ページ)

--

③日本でさまざまな自然災害が起こるのはなぜだと思いますか。国土の気候や地形の特色と関連づけながら、それぞれの災害について考えましょう。(教科書 210～211 ページ)

--

④教科書 211 ページの資料ケから、どのようなことがわかりますか。

--

⑤教科書 210 ページに出ている自然災害の中で、人におよぼす被害が最も大きかったのは、どの災害ですか。

自然災害名	発生年月 年 月
死者・行方不明者 名以上	こわれたり浸水したりした家 万戸以上

⑥大きな自然災害が発生すると、どのような被害が出ますか。(教科書 211 ページ)

--

⑦教科書 213 ページの資料オからは、どの自然災害が多く発生しているといえるでしょうか。上位3つを答えましょう。

①	②	③
---	---	---

自然災害とともに生きる② (教科書 210~221 ページ) 氏名 ()

①自然災害からくらしを守るために、どのような対策たいさくが行われているのでしょうか。表にまとめましょう。(教科書 214~221 ページ)

	発生している場所	発生と関係のある国土の 自然条件	自然災害への対策 (どこが、何をしているか)
津波	海の近く		市町村が、 国や県が、
地震	どこでも		気象庁 <small>きしょうちょう</small> が中心となって、 国や市町村が、
水害	川の近く		国や県が、
土砂災害 <small>どしゃ</small>	山の近く		国や県が、 国や県、市町村が、
雪害	日本海側		国や県が、 県や市町村が、
火山災害	火山の近く	たくさんの火山がある。	気象庁が、 国が、

自然災害とともに生きる③ (教科書 210～221 ページ)

氏名()

- ① 国や県、市町村などが協力して行っている防災のための大規模な取り組みは、何とよばれていますか。(教科書 215 ページ)

事業

- ② 「減災」とはどのような考え方ですか。(教科書 220 ページ)

自然災害が発生しても、

- ③ それぞれの自然災害への対策にはどのような共通点がありますか。「自然災害とともに生きる②」のワークシートで作った表を見ながら考えましょう。

【どこがしているかについて】

【何をしているかについて】

- ④ 公共事業の取り組みだけで、自然災害による被害を防ぐことができるでしょうか。あなたの考えとその理由を書きましょう。

- ⑤ 教科書 219 ページの資料のように、被災地の人々が、被害の様子を残しているのはなぜだと思いますか。

- ⑥ 下のそれぞれの意見に続く言葉を考えてみましょう。(教科書 220・221 ページ)

大きな自然災害への対策は、国や県が中心となって進めている。わたしたちのくらしにとって、

日本に住むかぎり、自然災害にあうおそれがある。だから、わたしたち一人一人
が、